

令和 2 年度 湧別町地域包括支援センター事業報告

1. 一般介護予防事業

目 的：介護保険被保険者の要介護状態等となることの予防又は要介護状態等の軽減若しくは悪化の防止及び地域における自立した日常生活の支援に資することを目的としています。

(湧別町介護予防・日常生活支援総合事業要綱より)

事業内容：65歳以上の方を対象に、湧別地区においては文化センターさざ波、上湧別地区においては社会福祉会館にて、月2回「大筋クラブ」として、運動教室や健康作り・口腔ケア・認知症予防等についての講話などの取組みを実施しています。

実施場所	湧別地区 さざ波	上湧別地区 社会福祉会館
登録者数	52名 (R1・58名、H30・61名、H29・58名)	45名 (R1・51名、H30・47名、H29・33名)
実施期間	令和2年6月～令和3年3月 (予定含む) ※4、5月新型コロナにより中止	

【各月の参加数】

さざ波

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	計
—	—	61	64	45	88	62	47	64	56	53	540

前年度実績 730名 (前年2月まで730名) ※新型コロナにより3月中止

前々年度実績 881名 (前々年2月まで809名)

社会福祉会館

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	計
—	—	43	39	28	54	34	28	24	24	34	308

前年度実績 595名 (前年2月まで595名) ※新型コロナにより3月中止

前々年度実績 532名 (" 487名)

○湧別会場 3B



○上演別会場 3B



○湧別会場 運動指導士



○上演別会場 運動指導士



○運動員（教育委員会）



【各月の大筋クラブの内容】

4/10	新型コロナウイルス感染症対策のため中止
4/23	〃
5/14	〃
5/27	〃
6/11	初回受付、新規参加者聞き取り確認、顔写真撮影、血圧測定・体調確認 スポーツ保険手続き、運動指導職員による脳トレ、音楽に合わせた運動、ストレッチ
6/25	運動指導士 講話：「呼吸についての講話」 運動：準備運動・上下肢のストレッチ・筋トレ（腹筋・背筋・スクワット）・有酸素運動（腕振り）
7/9	3 B 体操 ・ウォームアップ・音楽に合わせた体操（脳トレ、有酸素運動、筋トレ）・クールダウンストレッチ
7/22	運動指導士 講話：「熱中症予防行動」 運動：準備運動・上下肢のストレッチ・有酸素運動（腕振り）・筋トレ（腹筋・背筋・スクワット）・椅子ヨガ（呼吸法）
8/6	3 B 体操 ・ウォームアップ・音楽に合わせた体操（脳トレ、有酸素運動、筋トレ）・クールダウンストレッチ
8/27	運動指導士 講話：「いつまでも元気に動けるからだをつくる」 運動：準備運動・上下肢のストレッチ・脳トレ・有酸素運動（腕振り） 筋トレ（腹筋・背筋・スクワット）・椅子ヨガ（呼吸法）
9/10	3 B 体操・ウォームアップ・音楽に合わせた体操（脳トレ要素を含む上肢の体操）・クールダウンストレッチ
9/18	運動指導士 ・講話「転倒予防」 運動：準備運動・上下肢のストレッチ・有酸素運動・筋トレ（腹筋・背筋・スクワット）・脳トレ・椅子ヨガ
9/24	運動指導士 ・講話「足から健康になろう」 運動：準備運動・上下肢のストレッチ・有酸素運動・筋トレ（腹筋・背筋・スクワット）・脳トレ・椅子ヨガ
10/9	運動指導士 てんとう虫記録用紙記入・身長測定・血圧測定・体調確認・握力測定・ストレッチ

10/21	運動指導士 ■前回体力測定の結果説明（15分）体組成計、てんとう虫の結果を説明。 ■健康講話「しっかり噛んでしっかり食べる」 運動：準備運動・上下肢のストレッチ・筋トレ（腹筋、背筋、スクワット）・椅子ヨガ
11/5	3 B体操 ・ウォームアップ・音楽に合わせた体操（脳トレ、有酸素運動、筋トレ）・クールダウンストレッチ
11/25	運動指導員（教育委員会） 運動：顔面のストレッチ・上下肢のストレッチ・脳トレ・レクリエーション（棒サッカー）・深呼吸
12/9	運動指導士 講話：「風邪をひくとき」 運動：準備運動・上下肢のストレッチ・有酸素運動・筋トレ（腹筋・背筋・スクワット）・椅子ヨガ（呼吸法）
12/24	3 B体操 ・ウォームアップ・音楽に合わせた体操（脳トレ、有酸素運動、筋トレ）・クールダウンストレッチ
1/14	運動指導士 講話：「ヒートショックに気をつけよう」 運動：準備運動・上下肢のストレッチ・有酸素運動・筋トレ（腹筋・背筋・スクワット）・椅子ヨガ（呼吸法）
1/28	3 B体操 ・ウォームアップ・音楽に合わせた体操（脳トレ、有酸素運動、筋トレ）・クールダウンストレッチ
2/12	運動指導士による講話：「認知症と生活習慣」 運動：準備運動・上下肢のストレッチ・有酸素運動・筋トレ（腹筋・背筋・スクワット）・ストレッチ（深呼吸）
2/24	歯科衛生士による健康講話：「お口の健康について」 保健師による健口体操（鼻呼吸のメリットについて）
3/11	（予定）3 B体操
3/25	（予定）保健師 保健師によるレクリエーションなど

※感染症対策の為、時間短縮・ソーシャルディスタンス・接触回避等、一部内容を変更して実施。

2. 生きがい対応型デイサービス事業（緩和）

○町単独事業として実施していた「生きがいデイサービス事業」の一部を介護予防・日常生活支援総合事業の介護予防・生活支援サービス事業に移行し実施しました。

対象者：①事業対象者で入浴介助を必要としない者

②90歳以上の「生きがいデイサービス」利用者のうち、基本チェックリストで事業対象と認定となった者

各月の参加延べ人数（令和2年4月～令和3年1月）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	計
湧別	36	27	37	30	30	26	34	24	30	21	295 (前年1月 348) (前々年1月 371) (前年度実績 432) (前々年度実績 433)
上湧別	68	59	65	57	47	53	56	43	49	36	533 (前年1月 668) (前々年1月 600) (前年度実績 814) (前々年度実績 732)
計	104	86	102	87	77	79	90	67	79	57	828 (前年1月 1,016) (前々年1月 971) (前年度実績 1,246) (前々年度実績 1,165)

3. 介護予防ケアマネジメント事業

○要介護認定で要支援と判定された方及び、介護予防・日常生活支援総合事業の事業対象者と判定された方に、介護予防サービス計画を作成し、サービス提供事業者などとの連絡・調整を行い、介護予防サービス利用につなげました。

【予防給付及び原則的な介護予防ケアマネジメント】

	令和3年1月末	前年1月末	前々年1月末
登録実人数	108名	105名	91名
対応延べ件数	825件	824件	929件

【簡略化した介護予防ケアマネジメント】

	令和3年1月末	前年1月末	前々年1月末
登録実人数	22名	33名	24名
対応延べ件数	238件	271件	261件

4. 総合相談支援事業

○高齢者や地域に暮らす方の介護に関する悩みや相談を受け、地域包括支援センターの三職種が協同し、必要な介護保険サービスや福祉サービスに関する情報提供をおこない、必要な利用等につなげました。

相談件数（令和2年4月～令和3年1月）

		R3年1月末	前年度実績	前々年度実績
主 な 相 談 内 容	介護保険サービス説明	91件	93件	81件
	要介護認定申請手続き	59件	66件	60件
	要介護認定査	302件	372件	316件
	介護相談	38件	67件	54件
	健康・医療相談	48件	30件	49件
	施設入所	7件	15件	25件
	その他	117件	183件	123件
合 計		662件	826件	708件

※重複あり

5. 権利擁護事業

○「高齢者虐待防止法」にもとづき高齢者虐待の早期発見や防止に努め、0件の相談対応をしています。（平成31年4月～令和2年2月）

	内 容	結 果
相談 1	配偶者より暴力を受けている可能性がある。	本人の証言が曖昧であり事実関係が不明なため、継続して経過を慎重に観察していく。

6. 包括的・継続的ケアマネジメント支援事業

○介護支援専門員や介護保険サービス事業所と連携を図り、地域の高齢者が住み慣れた地域で長く暮らすことができるよう支援しました。

○地域包括ケア会議（介護サービス連絡部会）を月1回開催し、湧別町を営業区域とする介護保険サービス事業所や老人施設等と情報を共有し、サービス向上に努めました。

○地域密着型施設運営会議に出席し、行事報告や実践されている介護方法、事故報告、職員状況等の報告を受け、介護方法や運営が向上するよう協議しました。

- ・地域包括ケア会議 11回
- ・認知症対応型グループホーム「上湧別館」 1回
- ・地域密着型特別養護老人ホーム湧愛園「チューリップの里」 5回
- ・地域密着型特別養護老人ホーム湧別オホーツク園
「リラの杜」 5回
- ・地域密着型介護老人福祉施設・小規模多機能ホーム「湖水の杜」 5回

※令和3年2月末まで

※書面会議含む

7. その他厚生労働省令で定める事業及び地域住民の福祉の増進のために必要な事業

① 介護予防に関する普及啓発をおこなう事業

- ・湧別地区・上湧別地区 26 か所の老人クラブを年 3 回、および湧別地区 3 か所・上湧別地区 1 か所のサロンを訪問し健康相談等を実施しました。

必要に応じ介護予防教室参加を促し、要介護状態に陥らないよう、日頃から介護予防を意識できるよう啓発しました。

また、認知症を正しく理解するため、認知症サポーター養成講座の開催を予定しています。

令和 3 年 3 月 5 日（金） 場所：文化センター さざ波
時間：14 時～

3 月 9 日（火） 場所：文化センター TOM
時間：18 時～

② 任意事業

- ・寝たきり老人等介護手当助成事業

対象者：日常介護を受けている寝たきり老人、認知症老人又は寝たきり重度心身障害者と同居し、被介護者を無報酬で介護する方。

被介護者は要介護 4 以上に該当する方。

支給額：月額 2 万円。

- ・寝たきり老人等紙おむつ購入助成事業

対象者：本町に住所を有する在宅で 65 歳以上の高齢者(40 歳以上 65 歳未満の要介護状態で介護保険該当者を含む)のうち、今後 1 箇月以上常時おむつを必要とし以下に該当する方。

(1) 要介護認定を受け、要介護度 2 以上

(2) 要介護認定を受けないもので、要介護度 2 相当以上

助成額：購入額の 2 分の 1、月の上限は 5 千円。町内で購入した紙おむつに限ります。

- ・高齢者用歩行車購入助成事業

対象者：在宅で高齢等の理由により歩行が困難か、又は相当時間のかかる方。

助成金：購入額の 2 分の 1、上限 1 万 5 千円。

但し、助成後 3 年間は助成を受けることができません。

【任意事業の対象者数】

事業名	R3年1月末	前年度実績	前々年度実績
寝たきり老人等介護手当助成事業	10人	7人	7人
寝たきり老人等紙おむつ助成事業	73人	54人	38人
高齢者用歩行車購入助成事業	11人	19人	23人

8. 湧別町の事業（介護予防・生活支援事業）

事業目的：おおむね65歳以上で、介護が必要になる状況に陥ることなく自立した生活が確保できるよう実施し、要介護状態への進行を予防します。

対象者：介護認定を受けていない方、または要介護認定で自立と判断された方。

・生きがいデイサービス事業

事業内容：町の施設等を利用し要介護状態への進行を予防します。

上湧別地区と湧別地区は社会福祉協議会、湧別地区と芭露地区は湧別福祉会で実施し、外出や交流の機会が得られるよう支援しました。

【登録者数】

	R3年1月末		前年度実績		前々年度実績	
	上湧別	湧別	上湧別	湧別	上湧別	湧別
社会福祉協議会	50名	40名	56名	44名	43名	41名
	90名		100名		84名	
高齢者生活福祉センター	0名		0名		0名	
湖水の杜	名		2名		3名	

生きがいデイ 参加延べ人数（令和2年4月～令和3年1月）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
湧別（社協）	131回	117	131	121	96	113	122	98	96
上湧別（〃）	176回	153	192	166	144	141	169	162	185
湖水の杜	4回	2	5	2	0	0	0	0	0
生活福祉センター	0回	0	0	0	0	0	0	0	0

	1月	R3年1月末	前年1月	前々年1月	前年度実績	前々年度実績
湧別（社協）	92	1,117回	1,249	1,198	1,506	1,471
上湧別（〃）	154	1,642回	1,305	1,353	1,631	1,641
湖水の杜	0	13回	47	108	55	125
生活福祉センター	0	0回	0	0	0	0
計		2,772回	2,601	2,659	3,192	3,237

・軽度生活援助事業（ふれあい訪問）

事業内容：訪問し対象者の状況を確認し、日常生活上の軽易な支援や相談、状態の確認等を行いました。

【登録者数】

	令和3年1月末	前年1月末	前々年1月末
湧別地区	1名	2名	2名
上湧別地区	4名	5名	5名
合計	5名	7名	7名

各月の訪問回数（令和2年4月～令和3年1月） ※ 訪問回数は月1回30分程度

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
湧別地区	4回	3	3	2	2	2	2	1	1
上湧別地区	4回	4	4	3	3	2	3	3	3

	1月	令和3年1月末	前年1月	前々年1月	前年度実績	前々年度実績
湧別地区	1	21回	20	21	28	25
上湧別地区	3	31回	49	47	56	60
	計	52回	69	68	84	85

・生活管理指導員派遣事業（ホームヘルパー）

事業内容：居宅に生活管理指導員を派遣し、生活支援、指導を行いました。

【登録者数】

	令和3年1月末	前年1月末	前々年1月末
湧別地区	0名	0名	0名
上湧別地区	2名	2名	0名
合計	2名	2名	0名

各月の訪問回数（令和2年4月～令和3年1月） ※訪問は週1回1時間程度

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
湧別地区	0回	0	0	0	0	0	0	0	0
上湧別地区	12回	10	9	10	10	9	9	8	8

	1月	令和3年1月末	前年1月	前々年1月	前年度実績	前々年度実績
湧別地区	0	0回	20	21	28	25
上湧別地区	8	81回	49	47	56	60
	計	81回	69	68	84	85

・生活管理指導短期宿泊事業（ショートステイ）

事業内容：湧愛園、オホーツク園、湖水の杜の空きベッド等を利用し、短期間の宿泊をおこない、生活習慣等の体調調整をおこなうとともに、家族介護の介護負担を軽減しました。

	令和3年1月末		前年1月末 (前年実績)		前々年1月末 (前々年実績)	
	利用者数	利用日数	利用者数	利用日数	利用者数	利用日数
湧愛園	0名	0日	0名	0日	1名	3日
オホーツク園	0名	0日	1名	3日	3名	8日
湖水の杜	0名	0日	0名	0日	0名	0日
合計	0名	0日	1名	3日	4名	11日

・外出支援サービス

事業内容：ショートステイ事業、機能訓練事業、通院等の外出支援を社会福祉協議会で実施します。

【登録者数】

	令和3年1月末	令和2年1月末	平成31年1月末
湧別地区	0名	0名	1名
上湧別地区	3名	3名	1名
合計	3名	3名	2名

各月の利用人数（令和2年4月～令和3年1月）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
湧別地区	0回	0	0	0	0	0	0	0	0
上湧別地区	8回	6	14	4	8	12	4	2	4

	1月	令和3年1月末	前年1月	前々年1月	前年度実績	前々年度実績
湧別地区	0	0回	3	14	6	54
上湧別地区	2	64回	19	10	248	258
計		64回	22	24	254	312

令和3年度 湧別町地域包括支援センター事業計画

1. 一般介護予防事業

目的：介護保険被保険者の要介護状態等となることの予防又は要介護状態等の軽減若しくは悪化の防止及び地域における自立した日常生活の支援に資することを目的とします。(湧別町介護予防・日常生活支援総合事業要綱より)

事業内容：65歳以上の方を対象に、湧別地区においては文化センターさざなみ、上湧別地区においては社会福祉会館にて、月2回「大筋クラブ」として、運動教室実施や口腔ケア・認知症予防についての講話など介護予防の取り組みを実施します。

2. 生きがい対応型デイサービス事業（緩和）

○介護予防・日常生活支援総合事業の介護予防・生活支援サービス事業の緩和した基準によるサービスとして、生きがいデイサービス（緩和）を実施します。

対象者：①要支援1又は事業対象者で入浴介助を必要としない者

今後の方針：令和3年4月より新規利用者は通常の生きがいデイサービス利用者として受け入れることとなります。現在の利用者においては身体状況により介護保険のデイサービスに切り替え、3年後には事業を廃止する予定でその後は通常の生きがいデイサービスに一本化します。

3. 介護予防ケアマネジメント事業

(予防給付及び原則的な介護予防ケアマネジメント、簡略化した介護予防ケアマネジメント)

○要介護認定で要支援と認定を受けた方及び、介護予防・日常生活支援総合事業において事業対象者となられた方に、介護予防ケアマネジメントとして介護予防サービス計画を作成し、サービス提供事業者などとの連絡・調整を行い、介護予防サービス利用につなげます。

4. 認知症総合支援事業

目的：認知症になっても住み慣れた地域で生活するために、医療と介護の連携強化や認知症の人及びその家族への効果的な支援体制の強化を図る。

・認知症地域支援推進員の配置：地域包括支援センターの保健師1名を推進員として配置し、認知症に係る医療機関、介護サービス提供機関及び支援機関等の連携・調整等をおこない、くわえて認知症の人及びその家族に対する適切な支援の検討及び実施、支援のための情報の収集及び提供、支援のための研修会等の実施を行います。

・認知症初期集中支援チームの設置：認知症になっても本人の意思が尊重され、できる限り住み慣れた地域のよい環境で暮らし続けられるために、認知症の人やその家族に早期に関わる認知症初期集中支援チームを設置します。

5. 総合相談支援事業

- 高齢者や地域に暮らす方の介護に関する悩みや相談を受け、地域包括支援センターの三職種が協同し、必要な介護保険サービスや福祉サービスに関する情報提供をおこない、必要な利用等につなげます。

6. 権利擁護事業

- 「高齢者虐待防止法」にもとづき高齢者虐待の早期発見や防止に努め、認知症高齢者などで財産の自己管理が難しい方には成年後見制度を紹介し、高齢者のさまざまな権利を擁護します。

7. 包括的・継続的ケアマネジメント支援事業

- 介護支援専門員や介護保険サービス事業所と連携を図り、地域の高齢者が住み慣れた地域で長く暮らすことができるよう支援します。
- 地域包括ケア会議（介護サービス連絡部会）を月1回開催し、介護保険事業所等間の情報共有、地域包括支援センター等から情報を発信し、連携強化、サービス向上に努めます。

8. その他厚生労働省令で定める事業及び地域住民の福祉の増進のために必要な事業 任意事業

・寝たきり老人等介護手当助成事業

対象者：日常介護を受けている寝たきり老人、認知症老人又は寝たきり重度心身障害者と同居し、被介護者を無報酬で介護する方。

支給額：月額2万円。

被介護者は要介護4以上に該当する方。

・寝たきり老人等紙おむつ購入助成事業

対象者：本町に住所を有する在宅で65歳以上の高齢者(40歳以上65歳未満の要介護状態で介護保険該当者を含む)のうち、今後1箇月以上常時おむつを必要とし以下に該当する方。

(1) 要介護認定を受け、要介護度2以上

(2) 要介護認定を受けないもので、要介護度2相当以上

助成額：購入額の2分の1、月の上限は5千円。町内で購入した紙おむつに限ります。

・高齢者用歩行車購入助成事業

対象者：在宅で高齢等の理由により歩行が困難か、又は相当時間のかかる方。

助成金：購入額の2分の1、上限1万5千円。

但し、助成後3年間は助成を受けることができません。

9. 湧別町の事業（介護予防・生活支援事業）

事業目的：おおむね65歳以上で、介護が必要になる状況に陥ることなく自立した生活が確保できるよう実施し、要介護状態への進行を予防します。

対象者：介護認定を受けていない方、または要介護認定で自立と判断された方。

- ・生きがいデイサービス事業

上湧別地区と湧別地区は社会福祉協議会、湧別地区と芭露地区は湧別福祉会で実施し、外出や交流の機会が得られるよう支援します。

- ・軽度生活援助事業（ふれあい訪問）

訪問により対象者の状況を確認し、日常生活上の軽易な支援や相談、状態の確認等をおこないます。

- ・生活管理指導員派遣事業（ホームヘルパー）

居宅に生活管理指導員を派遣し家事援助などをおこないます。

- ・生活管理指導短期宿泊事業（ショートステイ）

湧愛園、オホーツク園、湖水の杜の空きベッド等を利用し、短期間の宿泊をおこない、生活習慣等の体調調整をおこなうとともに、家族介護の介護負担を軽減します。

- ・外出支援サービス

ショートステイ事業、機能訓練事業、通院等の外出支援を社会福祉協議会で実施します。